



秋田米新品種 「秋系821」 生産者募集

新品種を生産するには、JA等が組織する生産団体に加入する必要があります。

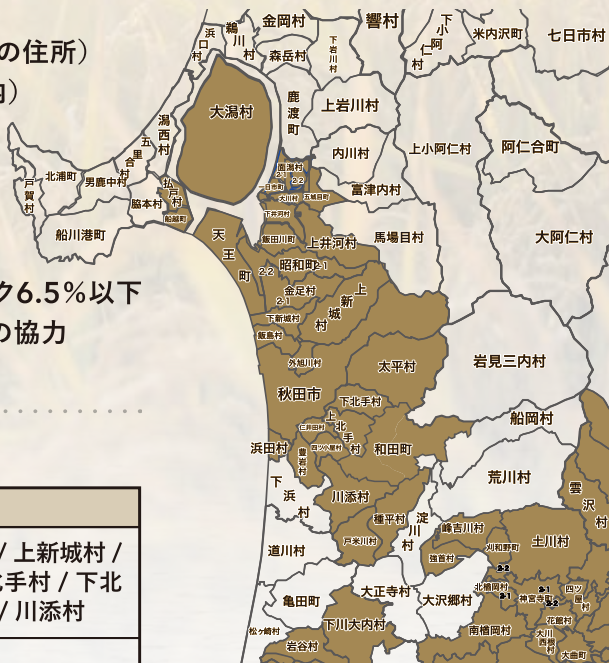
登録の申請

作付けを希望する方は、令和2年7月31日(金)までに別紙申込書を提出してください。

生産者の要件

- 毎年の種子更新、種苗の譲渡禁止
- 作付推奨地域内での作付け(圃場の住所)
- 農薬の使用成分回数(10成分以内)
- 栽培履歴の記帳
- 土壌診断に基づく土壌改良
- 飯米等を除き、全量出荷
- 令和元年産の「あきたこまち」
1等米比率90%以上、玄米タンパク6.5%以下
- ブランド化に係る各種取り組みへの協力
(PR経費負担金)

「秋系821」作付推奨地域マップ



作付推奨地域 (JA秋田なまはげ管内)

市町村名	作付推奨地域 (該当旧旧市町村)
秋田市	秋田市 / 太平村 / 外旭川村 / 飯島村 / 下新城村 / 上新城村 / 浜田村 / 豊岩村 / 仁井田村 / 四ツ小屋村 / 上北手村 / 下北手村 / 金足村2-1 / 和田町 / 戸米川村 / 種平村 / 川添村
男鹿市	船越町 / 払戸村
潟上市	天王町

品質、食味、収量を安定的に確保するために、出穂期後40日間の日平均気温22℃以上を確保できる地域を作付推奨地域とします。

品質・出荷基準

- 農産物検査等級：1等または2等
- 玄米タンパク質含有率：6.4%以下
- 玄米水分含有率：14.0%以上15.0%以下

栽培の特性

「あきたこまち」よりも出穂期で6日、成熟期で12日遅い晩生種です。
収量は「あきたこまち」並で、いもち病に強く、高温による品質低下が少ないのが特徴です。

主なかかり増し経費

- PR経費の負担(10aあたり3,000円～4,000円程度)
- 土づくり肥料(10aあたり4,000円～5,000円程度)
- 土壌診断(生産者1人につき1地点、5年に1回※以上) ※費用は1回10,000円程度

その他

- ① JAの共同乾燥調製施設での出荷はできません。
- ② 今後のスケジュール(予定)
8月中旬:生産者審査
8月下旬:説明会
- ③ 審査の結果は、後日申込者へお知らせいたします。

お問い合わせ先

秋田地区営農センター
TEL:018-833-5053
男鹿地区営農センター
TEL:0185-46-2311